

# 日本数学会出版賞について

理事長 森田康夫

理事会および教育委員会における検討状況を数学通信誌上でこれまでも御報告して参りましたが、日本数学会出版賞の内規が2004年2月28日の理事会および3月28日の評議員会において承認されました。また2004年6月19日の理事会において日本数学会出版賞選考委員会内規を制定し、選考委員会を設置しました。尚、選考の公正を期すため、選考委員の氏名は非公開と致しますので、御了承下さい。

最近子供達の数学離れ、理科離れ、書物離れが急速に進行していると報道されております。特に、数学離れに関しては、数学が難解であるとの印象を必要以上に与えている現状について考慮する必要があると思われまます。

しかも数学が高度に専門化したため、数学の果たす重要な役割が一般はもとより、理科系の専門家にも理解されているとは言い難い状況があります。

こうした困難な状況がある一方で、他方では、数学の魅力を巧みに伝える一般向け啓発書が相次いで出版されるという誠に喜ばしい状況もあります。数学会としては、このような企画を側面から応援したいと考えております。

また、数学諸分野の有機的連携を図り、自然科学、社会科学との協力関係を促進するためにも、数学の魅力や目覚ましい発展の真髄を他分野の専門家のみならず一般にも判りやすく伝える数学者の努力も奨励したいと考えております。

以上の理由により日本数学会出版賞を設けました。

日本数学会出版賞の概要は次の通りです。

日本数学会出版賞の趣旨： 出版活動などの著作活動により、数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた活動を顕彰。

授賞対象： 著作物等の著者、編集者、制作者、出版社などの個人または団体。

- \* 特定の著作物等のみならず、個人・出版社等による普及活動全般も授賞対象とする。
- \* 個人に授賞する場合は、授賞発表時点での存命者に限る。
- \* 「著作物等」には、書籍、雑誌、ビデオ、DVD等を含む。論文は研究業績を顕彰する他の賞の授賞対象でもあるので、原則として授賞対象としない。
  - 著作物等の場合に想定する授賞対象としては、数学専門家向け書籍・雑誌、数学専攻大学院生向け専門書、学部学生用教科書、大学生・高校生・中学生・小学生等を対象とする啓発著作物等、非数学者向けの専門書籍・雑誌、一般を対象とする啓発著作物等が考えられるが、これら以外でも、賞の趣旨に合うものが推薦されてくれば審査対象とする。
  - 和算関係の著作物等も授賞対象とする。
  - 著作物等の場合、原則として日本語によるものを授賞対象とするが、日本人著者による外国語でのオリジナルな著作物等や、日本語による著作物等を翻訳して世界に普及させたものも授賞対象とする。
  - 日本語への翻訳著作物等も、訳者、編集者、出版社を授賞対象とする。
  - 著作物等の場合、審査時点で入手可能なもののみを授賞対象とする。(推薦時に現物を提出する必要はないが、選考委員会が推薦者に対して審査対象著作物等の一時貸与を求めることもあり得る。)

授賞件数： 年 1 回 3 件程度授賞. しかし当初は 10 件までの授賞も想定.

推薦書類： A4 版用紙 1 枚に, 次の事項を記載.

- \* 推薦者氏名, 連絡先住所, 電話番号, 電子メール.
- \* 特定の著作物等に関して推薦する場合には, 顕彰すべき対象と著作物等の書誌事項 (著作者名・翻訳者名等, 著作物等題名, 出版社等名称, 出版年, その他).
- \* 編集者・制作者・出版社等に関してその活動を推薦する場合には, その対象名と顕彰対象とすべき具体的事項.
- \* 推薦する理由.
- \* 当該推薦に関して選考委員会に参考意見を提供して頂けそうな数名の方々の氏名, 連絡先住所, 電話番号, 電子メール宛先.

いずれ数学通信 2004 年 11 月号誌上で数学会会員による他薦を改めて正式に御願いととも、出版界にも自薦・他薦を依頼する予定です. その上で, 2004 年 12 月締切, 2005 年 1 月選考, 2005 年 3 月 28 日の年会における授賞を予定しております.